

1000年に一度の大雨を想定した 吉田町洪水ハザードマップ

ハザードマップで自宅と避難先が
地図のどこにあるか確認して、
印をつけてみましょう。



各種ハザードマップの作成、公表
町では、洪水ハザードマップの他に、津波ハザードマップ、
地震防災ガイドブック、土砂災害ハザードマップを町HPで
公開していますので、合わせてご確認ください。



「吉田町洪水ハザードマップ」は、大井川、湯日川、坂口谷川が想定最大規模の降雨(1000年に一度程度の確率で起こる降雨)により堤防が壊れたり、水があふれ出たりした際に想定される被害を示したものです。
このハザードマップを参考に自宅や通学先・通勤先などにおいて想定される災害状況を認識し、避難経路や避難先を確認してください。また、家庭や学校、事業所、地域における防災・減災活動にご活用ください。

ハザードマップ 吉田町防災課 〒421-0395 静岡県榛原郡吉田町住吉87番地
お問い合わせ先 電話番号/0548-33-2164 FAX/0548-32-6121

吉田町 令和3年3月

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民のみなさんが取るべき行動	吉田町からの情報	気象庁等の情報		
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 大雨特別警戒発表時は、避難勧告・指示等の対象範囲を再度確認	大雨 特別警戒	危険度分布	氾濫 発生情報
4	危険度分布の「極めて危険」(濃い紫)出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	避難指示(緊急) ※緊急的または重ねて避難を促す場合等に発令 避難勧告	土砂災害 警戒情報	極めて危険 非常に危険	氾濫 危険情報
3	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は避難準備が整い次第避難行動開始、高齢者等は速やかに避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	警戒 (警戒級)	氾濫 警戒情報
2	ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難所、避難経路等を確認し避難行動の準備		大雨注意報 洪水注意報	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報 (情報級の可能性)		

情報入手先

Push 型の情報
行政から住民のみなさんに伝える情報です。

- 同報無線(町内各地の子局から音声放送) サイレンやアナウンスに注意し、隣近所でお互いに声を掛け合うよう掛けましょう。
- 防災ラジオ 同報無線の放送内容を聞くことができます。(1世帯1台まで防災課で無償配布しています)
- よした防災メール 緊急情報などを登録したメールアドレスに配信するサービスです。事前に登録が必要です。メール受信に伴うパケット通信料が発生します。
- 緊急速報メール、エリアメール 一定のエリアにある携帯電話に自動的に情報を配信するサービスです。基本的に手続きは不要です。
- Yahoo! 防災速報 このアプリは、通知対象地域を吉田町として登録するか、位置情報の利用を「オン」にすることで、町が発信する防災緊急情報を受信できます。

Pull 型の情報
住民のみなさんが自分で入手する情報です。

- 同報無線電話応答サービス 同報無線の放送内容を電話で聞くことができます。TEL: 33-2777 (通話料がかかります)
- サイボウズ レーダー 静岡県土砂防災総合情報「SIPOS-RADER」 静岡県内の最新の河川の水位、雨量、防災、気象情報が確認できます。
- 国土交通省 川の防災情報 雨や川の水位の状況などが、インターネットを通してリアルタイムで配信され、いつでもどこでも避難に必要な情報が確認できます。
- 静岡県気象台 最新の気象情報、注意報・警報などが確認できます。
- NHK データ放送(テレビモニターのdボタン) 注意報・警報などの情報が確認できます。また、災害情報や避難行動情報、交通やライフラインについての情報も確認できます。

住民のみなさん

避難行動判定フロー

ハザードマップで自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

自宅がある場所は色が塗られていますか?

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です。

自分と一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れのある地域を着色した地図です。着色されていない所でも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていないでも、周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、町からの避難情報を参考にし、必要に応じて避難してください。

浸水の危険があっても…
①家屋倒壊等氾濫想定区域の外側である。
②想定される浸水深よりも高い所にいる。
③浸水しても水が引くまで耐えられる水や食料などの備えが十分にある。
①～③の場合は、**自宅に留まり安全を確保することも可能**です。
丈夫な建物などの上層部に住んでいる場合は、**自宅に留まり安全を確保することも可能**です。

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル3→避難に時間がかかる人(高齢者や障がいのある人など)とその支援者は避難が必要です。その他の人は避難の準備をしてください。警戒レベル4→危険な場所にいる人は速やかに避難先へ避難が必要です。

風水害時の避難行動

■家族の連絡先などを記載しましょう

名前	電話番号	備考

■ハザードマップを見て自宅のある場所を確認しましょう
自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ある ない 自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内にあるか ある ない
想定される浸水深は m 浸水継続時間は 時間
自宅は土砂災害警戒区域内にあるか ある ない 自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか ある ない
自宅の近くに内水氾濫による浸水実績箇所はあるか ある ない

■日頃から、避難行動を考えましょう
わが家は自宅に留まり安全を確保します
わが家は警戒レベル _____ が出たら…
安全な _____ の家に避難します(親戚や知人宅を書きましよう)
町が指定した _____ に避難します(避難所の名称を書きましよう)

※避難行動判定フローを参考に、避難行動について家族で話し合ってください

警戒レベル	吉田町からの情報	気象庁等の情報	わが家の行動
1	警戒レベル1	■早期注意情報(情報級の可能性)	●雨風が強くなる時期にやっておくべきことを書いておきましょう
2	警戒レベル2	■大雨注意報 ■洪水注意報 ■危険度分布「注意(注意報級)」 ■氾濫注意情報	●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう
3	警戒レベル3	■避難準備・高齢者等避難開始 ■大雨警報 ■洪水警報 ■危険度分布「警戒(警戒級)」 ■氾濫警戒情報	●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう
4	警戒レベル4	■避難勧告 ■避難指示(緊急)	●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう
5	警戒レベル5	■災害発生情報 ■大雨特別警戒 ■氾濫発生情報	●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう

もしも逃げ遅れたら、命を守るための最善の行動を取ってください! 外に出ることが危険な場合は、その時点でいる建物内の安全な場所で身をを守ってください!

事前の備え

自宅周りの確認

屋根
アンテナトタン、瓦は固定されていますか?

ベランダ
落下や飛散の危険のあるものはありますか?

家財
濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動していますか?
壁に亀裂はありませんか?

窓
窓枠、雨戸のがたつきはありませんか?

雨どい
継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはありますか?

排水溝
排水溝にごみや土砂が詰まっていますか?

その他
庭木には添え木をしていますか?
ブロック塀はくずれそうにないですか?
プロパンガスのボンベは鎮でしっかり固定していますか?

非常持出し品・備蓄品

1)非常持出し品(例)

携帯ラジオ(防災ラジオ) 懐中電灯・予備の乾電池
缶(ホイッスル) 非常食(3日分) ナイフ ティッシュペーパー・トイレトペーパー
ライター・マッチ 簡易トイレ 生理用品 手ぶくる
マスク 下着・くつ下 救急薬品・常備薬 現金(硬貨も)

2) 備蓄品(例)

家庭で自活するためにも、飲料水、食料とも1週間以上の備蓄をお願いします。

1週間の目安(1人分)
飲料水 1日3ℓ×7日=21ℓ 食料 3食×7日=21食

ローリングストック法(回転備蓄)
日常使う食料や非常用の食料品を、消費しながら備蓄していく方法。また、古いものから先を使うように収納を工夫すると上手に確保できます。飲料水などは、備蓄していきます。

食料品の一例
レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、パスタ類、調味料、乾物、根菜類(常温で保存できる野菜)、フリーズドライの野菜、ドライフルーツなど

3) あると便利な物

ウエットティッシュ モバイルバッテリー ラップ類 携帯用カイロ 予備の眼鏡
ティッシュ 予備の入れ歯 バイク・自転車 補聴器 パール・ジャッキ
毛布又は寝袋 リュックザック ヘルメット・防災頭巾 ピニール袋

避難

避難の心得

- ①安全な避難路の確認を**
避難先までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に進行できるかを確認しておきましょう。
- ②非常持出し品の事前準備を**
避難するときの荷物は最低限とし、事前に準備しておきましょう。
- ③正確な情報収集と自主的な避難を**
ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報を確認しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ④避難の呼びかけに注意を**
危険が迫ったときには、役場や消防団などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。
- ⑤高齢者などの避難に協力を**
高齢者や子供、障がいのある人は、早めの避難が必要です。近所の高齢者や子供、障がいのある人などの避難に協力しましょう。
- ⑦自動車での避難は控えて**
自動車での避難は緊急車両の通行を妨げるため、特別な場合を除きやめましょう。また、水防活動の妨げになりますので、堤防や道路に自動車を放置しないでください。
- ⑧ペットを同行避難する場合**
ペットを同行避難する場合は、事前に同行の妨げにならないよう、健康状態を確認し、必要に応じて健康診断やワクチン接種を受けてください。また、ペット用の避難用品や備蓄品を確保しておくことが重要です。また、どこの場所でも同行避難が可能な場合、事前に確認しておきましょう。

避難生活

避難生活に備えて必要な物資を確保しよう

自宅待機または知人宅へ避難する場合
災害発生時でも、自宅の安全が十分に確保できれば在宅を続けることが可能です。しかし、災害発生時には建物が無事であっても、ライフラインが停止し、食料や日用品の調達も困難になることが予想されます。道路の復旧や救援物資が届くまでの間、最低でも3日分の食料が必要になります。飲料水や缶詰、レトルト食品などを備えておきましょう。

避難所へ避難する場合
町の備蓄品に限りがあることや使い回しを避ける必要があることから、可能な限り日用品を持参してください。また、多くの人が避難することが想定されるので、感染症防止対策に協力をお願いします。

マスク、アルコール除菌材なども持参ください

避難所を利用するときは…

- 受付時に体温測定、手指消毒を行い、健康状態チェックシートと避難者カードを記入してください。(発熱など体調不良の人は別のスペースでの避難となります。)
- 避難所内ではマスクを着用し、原則として避難者(または世帯)ごと約2メートルの間隔を手付けてください。
- 咳エチケット、こまめな手洗いを徹底してください。
- 地震や津波などの大規模災害時だけでなく、一時的な大雨や台風来時などの避難の際にも、マスクや食料、座布団(敷物)、毛布、モバイルバッテリーなど必要となるものはできる限り持参してください。

健康状態チェックシート
感染症患者の濃厚接触者でないかの確認や、体温、風邪などの症状がないかを記入します。

避難者カード
避難世帯の代表者名や住所、家族の状況などを記入します。

洪水浸水想定区域 (浸水継続時間)

下の図は、裏面に掲載した想定最大規模の降雨による氾濫が発生した際に、浸水深が0.5mを超えてから下回るまでの時間を示したものです。左の絵のように、浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、備蓄していても水や食料などがなくなる恐れがあります。

この図は、3 河川(大井川、湯日川、坂口谷川)の浸水継続時間を重ね合わせ、最大の浸水継続時間を表示しています。各河川の詳細図はこちらをご覧ください。

大井川

湯日川

坂口谷川

洪水浸水想定区域 (計画規模)

この図は、想定最大規模降雨よりも降雨量は少ないものの、発生頻度の高い降雨(概ね50~100年に一度程度)による洪水浸水想定区域を示したものです。

浸水深(計画規模)

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

作成主体	大井川	湯日川	坂口谷川
指定年月日	令和元年6月21日	平成31年3月15日	平成31年3月15日
指定の前提となる降雨条件	国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所 大井川流域の2日間の総雨量551mm 概ね100年に一度程度	静岡県 湯日川流域の1時間雨量88.8mm 概ね50年に一度程度	静岡県 坂口谷川流域の1時間雨量85mm 概ね50年に一度程度

この図は、3 河川(大井川、湯日川、坂口谷川)の計画規模の降雨により浸水が想定される区域と浸水深を重ね合わせ、最大の浸水深を表示しています。各河川の詳細図はこちらをご覧ください。

大井川

湯日川

坂口谷川